

みんなで
地域の道路を
考える



H25 年
4 月

第2号

意見交換会 かわら版

「講演」

岡山大学橋本准教授

「県道 池田中町線」のあり方を考える際のアドバイザーとして関わって頂いている、岡山大学大学院の橋本成仁准教授に「生活道路と交通安全」というテーマで講演を行って頂きました。

生活道路という狭い道路の交通安全で、何が問題で何が危険なのかというと、次の3つに集約されるそうです。

- ① 交通量が多い
- ② 自動車のスピードが速い
- ③ 車と人の距離が近い

この3つの問題点を解決するアイデアについて、海外の事例や国内の様々な事例を含め紹介していただきました。



「今後のあり方を考える」

第2回 「意見交換会」開催

3月14日に、中町・東町にお住まいの方や、お店を出していらつしやる方にお集まりいただき、「将来どんな『みち』にしたいか」というテーマで意見交換を行いました。

参加者からは、「車のための道ではなく歩くための道であるべき」といった意見や、どうすれば安全な歩行空間をつくれるかといった視点での意見が多く出されました。他にも斬新なアイデアが飛び出すなど、方法についても意見交換を行いました。



意見交換の中で出た意見について、いくつかご紹介します。

○全体として

- ・車の走りやすい道ではなく歩きやすい道
- ・道路の幅は、箇所毎に変えるのではなく同じがよい
- ・本来に狭いところのみ拡幅して、後は現状を活かす
- ・商業に適した車や人通りのある道
- ・長い目将来を考えると思い切った作戦が必要

○安全な歩行空間について

- ・道路のデザインで歩道を確保
- ・スピードを落とす工夫が必要
- ・車の減速により交通事故の防止を図る

○歩車共存道路の導入について

- ・ホンダカーズ近くや、ピア側は道路の幅もあるので歩車共存道路ができそう
- ・路面共有するが、ただし一部は広げる

○その他の工夫

- ・カラー舗装・側溝整備、ブロッック塀撤去、待避所案 など